

墨田区オリンピック・パラリンピック地域協議会  
会 議 録

会議名 第 2 回 おもてなし・交流部会
日 時 平成 3 0 年 3 月 2 0 日 ( 火 ) 1 8 時 ~ 1 9 時 5 分
会 場 墨田区役所 1 2 3 会議室
<p>会議の概要</p> <p>事務局より、東京 2 0 2 0 大会のマラソンコースの墨田区への招致活動を行った旨、報告した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 新部会員について 「アボット・カマイ・グループ」、「都立本所高等学校」の 2 団体が、新たに参画した。</li> <li>2 前回の議事について 資料 2 ( 前回の会議録 ) について確認した。</li> <li>3 本部会に関連する来年度の区の取組について 資料 3 ( 予算プレス発表資料 ) について、区の担当者から説明した。</li> <li>4 大会に向けたボランティア活動について 資料 4 ( 東京 2 0 2 0 大会のボランティア ) について、区の担当者から説明した。</li> <li>5 アンケート結果について 資料 5 ( アンケート結果 ) について、各部会員から説明した。</li> <li>6 意見交換 【主な意見】○：部会員、     ：区・事務局 オリパラに必要なボランティアを示していただき、その中で何ができるか検討していく流れでお願いしたい。 大会ボランティアや都市ボランティアについては、東京 2 0 2 0 大会に向けた取組だが、本部会ではオリパラをきっかけに、地域でどのような「永続的」なボランティアができるかを検討していきたい。来訪者にお水を一杯あげたり、打ち水をするのもおもてなしにあたる。普段行っているお祭り等の行事を見てもらったりするだけでも、おもてなしになると思う。 大会ボランティア、都市ボランティアについては、今年の 9 月に募集が始まる。詳細については今後示されるので、示されたら情報提供する。 今後、未来枠で様々なことを考えていくなかで、皆様のご協力をいただかないと実現できないこともでてくると思うので、その時にはご協力をいただきたい。 部会の方向性については、次回の部会で示していきたい。</li> <li>7 次回の開催について 4 月下旬に開催する総会後に開催する。</li> </ol>

# 墨田区オリンピック・パラリンピック地域協議会

## 会 議 録

会議名 第2回 文化・観光・産業部会
日 時 平成30年3月16日(金) 18時~19時45分
会 場 墨田区役所131会議室
会議の概要 事務局より、東京2020大会のマラソンコースの墨田区への招致活動を行った旨、報告した。 1 新部会員について 「東武トップツアーズ」、「本所高等学校」の2団体が、新たに参画した。 2 前回の議事について 資料2(前回の会議録)について確認した。 3 本部会に関連する来年度の区の取組について 資料3(予算プレス発表資料)について、区の担当者から説明した。 4 アンケート結果について 資料4(アンケート結果)について、各部会員から説明した。 5 今後の検討テーマについて アンケート結果を踏まえて意見交換をし、次の4つを当面の検討テーマとした。 本区の文化・観光・産業の魅力発信に向けた取組 訪日外国人受入に向けた取組 区内回遊の促進に向けた取組 レガシーとして何を残すか 今後は、4つの検討テーマに関連した各団体の活動や取組、検討状況などについて報告していただき、情報共有を図っていくこととなった。 【主な意見】○：部会員、□：区・事務局 両国からスカイツリーまでのルートや交通手段を、区としてどのように考えているか。 両国の船着き場から区役所前の船着き場までの船のルートがある。区役所前まで来ていただければスカイツリーは目の前に見えるので、船を使うのは面白いと思う。また、区役所前で船を乗り換え、スカイツリーのたもとまで行く新しいルートもできると思う。 錦糸町地域では、たばこのポイ捨てや客引きなどの課題があるので、パトロールを強化する必要がある。 インバウンドの方は荷物を持っているので、預かり場所を検討する必要がある。 6 次回の開催について 6月以降に開催できるよう事務局が調整する。なお、総会は4月下旬開催予定。

- ・食育に関連して、外国人を招いて、和食の良さなどを英語で伝えた。  
外国文化を理解・尊重するためには、日本のことを知ることも大切。
- ・地域の方と触れ合うことも重要。
- ・青少年委員協議会でスポーツゴミ拾いを実施、中学生100人以上集まった。
- ・ボランティア等で外国人と関わる機会を与えてはどうか。  
英語のできる学生たちは、自らまちに出て外国人を案内できる。  
その契機付けやおもてなしの心の醸成が必要では。
- ・各学校で国が割り振られ、その国の踊りや言葉を学んでいる。

#### (4) その他

- ・大会ガイドブックを各学校に配布したらどうか。  
部数に限りがあるため対応を検討する。ホームページには掲載されている。
- ・各学校に、イベント等のポスターを掲示したら、生徒や保護者の目に留まる。  
引き続き、速やかなポスターの配布等に努める。
- ・地域と学校が連携して取組をできたらよい。  
現在は、公開授業等があるが、今後、できることがあれば良いと考えている。
- ・他の部会とも連携して活動ができたら良い。
- ・随時の情報共有が必要。
- ・特別支援学校も教育部会に追加されたい。  
確認の上、調整する。

#### 5 次回の開催について

##### 第2回総会と同時

既に取り組んでおり、現状では特段検討するテーマがないので、新たな検討事項等出てきた場合には、その都度調整する。

墨田区オリンピック・パラリンピック地域協議会  
会 議 録

会議名

第2回 まちづくり・環境部会

日 時

平成30年2月22日(木) 18時30分～19時45分

会 場

墨田区役所131会議室

会議の概要

1 新部会員について

「東京電力パワーグリッド株式会社江東支社」及び「国土交通省 東京国道事務所」の2団体が、新たに参画した。

2 前回の議事について

資料2(前回の会議録)について確認した。

3 部会の運営について

資料3(部会の運営)について、事務局から説明した。

4 本部会に関連する来年度の区の取組について

資料4(予算プレス発表資料)について、区の担当者から説明した。

5 アンケート結果について

資料5(アンケート結果)について、各部会員から説明した。

6 今後の検討テーマについて

アンケート結果を踏まえて意見交換をし、次の3つを当面の検討テーマとした。なお、今後、新たな意見や提案が出てきた段階で、部会の検討テーマとするか議論していく。

次回の検討テーマは、事務局に一任された。

ヒートアイランド対策

街の美化対策

防犯意識の向上

【主な意見】○：部会員、△：区・事務局

○海外等から観戦に来た方々に、区内全域を回遊してもらうよう案内、整備していくのか。競技会場周辺だけでなく、区の観光地等を回遊してもらうよう案内、整備していく。

○安心して街を歩けるように防犯カメラを広範囲に渡って設置し、安全対策ができているとPRすれば、区のイメージも向上するのではないか。

町会・自治会、警察と連携し、防犯カメラを設置している状況。

ヒートアイランド対策として、雨水を利用して、打ち水をしたり、街の美化活動として公園の花壇に花を植え、花壇づくりをしてはどうか。

打ち水とともに、クールスポット(お客でなくても店内等で涼める)の設置を広めていくのはいかがか。

部会の進め方についても意見があれば、事務局にお知らせいただきたい。

7 次回開催について

6月頃に開催できるよう事務局が調整する。なお、総会は4月下旬開催予定。

# 墨田区オリンピック・パラリンピック地域協議会

## 会 議 録

会議名 第2回 未来枠会議
日 時 平成30年3月15日(木) 18時00分～19時40分
会 場 区役所122会議室
会議の概要 1 自己紹介 2 前回議事内容の確認 資料2の前回会議録を確認した。 3 区の来年度の取組について 資料3の区の来年度予算について説明した。 4 意見交換 幹事) 第1回目の前回は、議論のきっかけとして「ランニングイベント」を議論の素材にしたらどうか話をさせていただいた。 先月、墨田区を走ることになって2度目の東京マラソンが実施された。応援しに行ったが、マラソンにはものすごいパワーがあると実感した。スポーツの力はすごいものがある。2019年12月には総合運動場ができる。「陸上競技」だけでなく、柔軟な活用ができる運動場となる。 また、オリンピックは文化的な要素も重要。墨田区には「北斎」というキラコンテツがある。何を発信して、どういうふうに地域を活性化できるのか。 若い皆さんの自由な発想が欲しい。その発想を形にするためにはどうしたらいいかを考えていただきたい。何か発想を持ってやること、何かに参画できた、何かに関わってきたということがいい経験になると思う。「自分のために未来枠を活用してやる。」という思いでやっていただくと有難い。 今日の一つの到達点としては、きっかけとしてのランニングイベントがどうあるべきかを皆さんから意見をいただければと思う。 【資料説明】 スポーツ・学習課長より、別紙4(区内マラソンの検討について)について説明した。 なお、ランニングイベントの開催時期は総合運動場の供用開始の2019年12月を予定しており、今年の秋には予算を固める必要がある旨、あわせて説明がされた。 【会員の意見】 ・ランニングイベントの目的は何か? 2019年12月供用開始予定の総合運動場のこけら落としとしてスタートし、2020年に向けた気運醸成を図るとともに、レガシーとして残していけるイベントとしたい。 ・ランニングイベントは古いと言われ始めており、5kmや10kmのファンランが多発している。 ・ランニングイベントは、参加者は多いがお金を落とさず、活性化というより地域が消費していくと言われている。 ・ランニングイベント後に焦点を当ててみるのも面白いかもしれない。 ・ラントリップというサービスがあるので、是非参考にしてほしい。別紙4の区内全域コー

スの検討案2に近いが、ゴールをパーティー会場として、オリジナルのランニングコースを走り、それを発表し合うイベントがある。

- ・ロゲイニングという大会がある。出発とゴールの時間が決まっていて、コースは自由。観光名所の写真を撮り、その場所が遠ければ遠いほどポイントが加算される仕組みとなっている。
- ・走っている方からすると、墨田区内でマラソン大会をやることは魅力なのか。  
荒川河川敷沿いでは開催されているが、あまり魅力を感じない。墨田の魅力を発信できるようなランニングイベントができればいいと思う。
- ・走る人が楽しめるイベントとするのか、走らない人も楽しめるイベントとするのか、切り口によって検討の方向が異なってくるので、イベントの目的やターゲットを決める必要があると思う。
- ・走る人も走らない人も楽しめるイベントが増えてきている。走らない人は、食べ物だとかを楽しんでいる。
- ・長野県では、約1万人が参加する「長野オリンピック記念マラソン大会」というオリンピックを機に都市に根付いた大会がある。マラソン大会が羅列している中で、どう差別化していくのか。墨田区独自のものが大切だと思う。
- ・観光名所を巡るものも良いかと思う。ランニングイベントは、観光なのか、スポーツなのか、それとも両方もありなのか。  
観光にすると、墨田区では南部地区に偏りがちとなる。
- ・決められたコースを走るより、自ら開拓したもののほうが良いと思うので、「コースを開拓しませんか？」という、投げ方をするのも面白いかと思う。
- ・何を成果とするのか、参加者数なのか、それともレガシーを残すことなのか、地域の人が誇りに思えばいいのか。何を成果とするのかを決めた方がいい。
- ・地域の子ども達が誇りに思えた方が良い。
- ・オリンピック・パラリンピックが東京にくることを子ども達に知ってもらうことが大事なのではないか。
- ・歩道を使ったランニングイベントは、歩道を狭めることになる。イベント参加者が楽しめるだけではなく、一步引いた目線も大切。
- ・子ども、学生、地域の方は、何にワクワクするのか。
- ・バリアフリーマップ作り。心に残るため、子ども達の参画、企画が大切ではないか。
- ・最終的に何を目的にするのかというのが大切だと思う。
- ・子どもに何か残すというのは共感する。応援する側で、競技を見せる形もあり。
- ・子どもを巻き込むのは賛成。

(ポイント・キーワード)

ランニングイベントの「目的」や「ターゲット」により、検討の方向性が異なる。

羅列しているランニングイベントと差別化を図るためには「墨田区独自」のものが必要。

「何を成果とするのか」。

#### 5 今後の検討テーマについて

議論したことをそれぞれ持ち帰り、ランニングイベントの目的を決める。

#### 6 次回の開催について

ゴールデンウィーク前に開催する。日にちについては、事務局に一任。